

Urban Safari

[アーバン サファリ]

日之出出版

Oct.2024 Vol.43

Cover Story

アーロン・テイラー＝ジョンソン

Elegance in Authority
こだわりの極上コート選び。



omegawatches.com



コンステレーション
コアアクシャル マスター クロノメーター

HYUN BIN'S CHOICE

ヒョンビンの腕元を飾るオメガは、彼の俳優としての才能を物語っている。彼の独自のスタイルで魅せる類まれな演技。そして、このタイムピースが誇る卓越した精度と希少性。オメガアンバサダーである彼が着用しているのは、ステンレススティール製コンステレーション 41mm。本物の鉄隕石（アイアン メテオライト）が形成する美しい文字盤には、グリーンの彩色が施されている。希少な隕石に刻まれた唯一無二の模様はそれぞれが特別であり、ひとつとして同じ文字盤は存在しない。新たな役を演じるたびに、新たな魅力を解き放つヒョンビンにふさわしい究極のタイムピースだ。


OMEGA



MONTBLANC

Celebrating 100 Years of Meisterstück
with a short film by Wes Anderson.



TUDOR

BORN TO DARE

What is it that drives someone to greatness? To take on the unknown, venture into the unseen and dare all? This is the spirit that gave birth to TUDOR. This is the spirit embodied by every TUDOR Watch. Some are born to follow. Others are born to dare.



Snowflake hands

A hallmark of TUDOR divers' watches since 1969



Manufacture Calibre

MT5602-U with 70-hour "weekend-proof" power-reserve, silicon hair-spring, COSC-certification and Master Chronometer Certification from METAS



41 millimetre case in 316L stainless steel



Five-year transferable guarantee with no registration or periodic maintenance checks required

BLACK BAY

Contents

- 08 COVER STORY アーロン・テイラー＝ジョンソン
 11 In Your CLOSET
 34 Gastronomic City Calgary
 36 World-Class Luxury Eyes Japan
 38 ACTIVE WELLNESS
 44 冬のコート選びはラグジュアリーが基本。
 48 Urban GOLF STYLE
 50 秋冬にぴったりのアイテムがここで見つかる。

Georges Kern

ジョージ・カーン／ブライトリングCEO

写真＝吉澤健太 文＝山口幸一

photo : Kenta Yoshizawa text : Koichi Yamaguchi

ブランドを成功へと導くために必要なものとは。

クロノグラフの名門として140年の歴史を誇る〈ブライトリング〉が躍進を遂げている。モルガン・スタンレーの調査によれば、同社の高級時計市場における売り上げランキングはここ数年で19位から9位へと急上昇。この飛躍的成長の背景にあるのが、ブランド改革だ。2017年にCEOに就任し、改革を推し進めたジョージ・カーンに成功の秘訣を聞いた。

「企業を成功に導くための「To Do List」は存在しません。たとえば2人のシェフに同じ食材を用意しても同じ料理はできません。素晴らしい料理を作るために必要なのはレシピではなく、リーダーであるシェフの感性なのです。それはラグジュアリービジネスにもいえることです」

そんな彼が自らの感性に従い手掛けたのが、コレクションの再編と各モデルの刷新だった。たとえばサイズが大きく古典的なイメージだったモデルを「モダン

レトロ」をテーマに、伝統を踏まえながらもよりコンパクトでエレガントなデザインにアップデート。女性向けモデルも一層充実し、売り上げも伸ばしている。

「ラグジュアリービジネスにおいて重要なのは顧客のニーズに答えることではなく、ニーズを創造すること。そしてそのために必要なのがブランドイメージの構築です。コレクションの再編もモデルのアップデートもその一環なのです」
 こうした改革には、強力なリーダーシップが重要となる。CEOとしてどのようなことを心掛けているのだろうか。

「私は、リーダーは常に開かれた存在であるべきだと考えます。つまり、チームメンバーが求めるものに対し即座に決断し応える。そして明確なビジョンを示し続ける。こうしてチーム全体と信頼関係を築くことで、新たな挑戦へと突き進むことができるのです」

発行人
 Publisher
 藤原 晃
 Akira Fujiwara
 編集長
 Editor in Chief
 園部 仁
 Hitoshi Sonobe
 メディア事業部 統括
 Executive Director of
 Media Division
 成井 毅
 Tsuyoshi Narui
 アートディレクター
 Art Director
 藤澤拓也
 Takuya Fujisawa (ANAGUMA)
 デザイナー
 Designer
 渋江裕子
 Yuko Shibue (ANAGUMA)

コントリビューティング・エディター&ライター
 Contributing Editors & Writers
 遠藤 匠
 Takumi Endo
 大嶋 慧子
 Keiko Oshima
 古関千恵子
 Chieko Koseki
 中村孝則
 Takanori Nakamura
 野中邦彦
 Kunihiko Nonaka
 長谷川茂雄
 Shigeo Hasegawa
 堀川博之
 Hiroyuki Horikawa
 前田聡美
 Satomi Maeda
 山口幸一
 Koichi Yamaguchi
 渡邊ひかる
 Hikaru Watanabe

●本誌掲載商品の価格表示はすべて税込み価格です。
 ●本誌内の記事及び写真、イラストなどの無断複写、複製、放送などを禁じます。
 ●本誌の編集内容に関するお問い合わせは日之出出版代表番号までお願いいたします。なお、土・日・祝日はお休みとなっております。

株式会社日之出出版
 〒104-8505 東京都中央区築地5-6-10
 浜離宮パークサイドプレイス7F
 代表☎03-5543-2221
 広告☎03-5543-1131

〈ブライトリング〉

1884年スイス・サンティミエで創業。モダンクロノグラフを発明したブランドとして名を馳せる。2017年からのブランド改革の一環としてプティック網も拡充され、日本でも'21年の4店舗から'24年には15店舗に。CEOのジョージ・カーンは1965年ドイツ生まれ。大学卒業後、食品会社から〈タグ・ホイヤー〉への転職を機に時計業界へ。リシュモンを経て2017年にブライトリングCEOに。





AARON TAYLOR-JOHNSON

【アaron・テイラー＝ジョンソン】

写真=Getty Images 文=渡邊ひかる
photo by Getty Images text: Hikaru Watanabe

PROFILE

1990年、イギリス生まれ。6歳の頃から子役として活動し、ドラマや映画、舞台に出演。ジャッキー・チェンと共演した『シャンハイ・ナイト』やエドワード・ノートン演じる主人公の少年時代を演じた『幻影師アイゼンハイム』などで映画界の注目を集める。以降の出演作は、『ジョージアの日記/ゆううつでキラキラな毎日』、『GODZILLA ゴジラ』、『ザ・ウォール』、『アウトロー・キング〜スコットランドの英雄〜』など。妻サム・テイラー＝ジョンソンの監督作『ア・ミリオン・リトル・ピース(原題)』では主演を務め、脚本家デビューも果たした。

アーロン・テイラー＝ジョンソンほど、肩の力を抜いて俳優人生、もとい、自分の人生を歩んでいるハリウッドスターはいないかもしれない。子役として母国イギリスの映画やテレビ、舞台に出演していたアーロンは、10代にしてハリウッドへ。望む役柄を思いのまま……とはいかず、歯がゆい思いをすることもやはりはしたものの、20歳を前に、いまや彼の出世作のひとつといわれる『キック・アス』の主人公、デイヴ・リゼウスキ役をゲット。同作の大ヒットをきっかけに、世界中で広く知られる存在になった。とはいえ、アーロンのその後の人生を決めたのは、もしかしたらデイヴ・リゼウスキではないかもしれない。『キック・アス』への出演に先立ち、彼は『ノーウェアボーイ ひとりぼっちのあいつ』に主演。ビートルズ結成前のジョン・レノンを演じた同作の現場で、後に妻となる監督のサム・テイラーに出会った。撮影当時のアーロンは18歳、サムは41歳。年上のクールな芸術家に恋した彼は熱烈なアプローチの末、結婚へこぎつけたという。その年齢差ゆえ当時は好奇の目を向けられもしたが、2人は幸せな家庭生活に突入。アーロンは20代にして、サムが前パートナーとの間に授かった娘2人、まもなく恵まれる娘2人の父親となった。

もともとはアーロン・ジョンソンとして活動していた彼がアーロン・テイラー＝ジョンソンとして知られていることからわかるように(サムの現在のクレジットはサム・テイラー＝ジョンソン)、2人は今も仲睦まじい様子。先月もアーロンはサムとのバカンス中に撮影したらしき写真をインスタグラムにアップし、変わらぬ愛を示していた。その写真のアーロンが見事な肉体であることは後に触れるとして、家族を愛する彼のスタンスは34歳の今もなんら変わらない。結婚当時、注目の若手スターとなっていたアーロンのもとには数々のオファーが舞い込んでいたが、彼は家庭生活とのバランスを取りながら、心から望む役をじっくりとチョイス。決して焦ることなく、自分が思い描く形に沿って俳優のキャリアを築いていった。

そんな状況において注目すべきは、アーロン・テイラー＝ジョンソンを望む声の後を絶たないこと。2014年のマーベル映画『キャプテン・アメリカ/ウィンター・ソルジャー』には、スーパーヒーロー

のクイックシルバー役に登場。翌年の『アベンジャーズ/エイジ・オブ・ウルトロン』から、MCU(マーベル・シネマティック・ユニバース)に本格参戦している。また、2016年の『ノクターナル・アニマルズ』(トム・フォード監督作)では凶暴で残忍な男を怪演し、ゴールデングローブ賞助演男優賞を受賞。この授賞式では、壇上で妻のサムに感謝を述べる姿も印象的だった。さらに近年に目を向けると、クリストファー・ノーラン監督と組んだ『TENET テネット』、人気シリーズの3作めにあたる『キングスマン:ファースト・エージェント』、伊坂幸太郎のミステリー小説を映画化した『ブレット・トレイン』、ライアン・ゴズリングと共演した『フォールガイ』なども。ちなみに、『ブレット・トレイン』の日本公開時には初のプロモーション来日も果たしている。

そして、次なる出演作として待ち受けているのが『クレイヴン・ザ・ハンター』だ。クイックシルバーとしてMCU入りした過去を持つアーロンだが、今度はヴィランとしてマーベルコミックの映画化作品に参加。原作コミックではスパイダーマンの宿敵として描かれ、ヴェノムにも匹敵した強さを持つ『クレイヴン・ザ・ハンター』ことセルゲイ・クラヴィノフを演じる。このクレイヴン・ザ・ハンターは引き締まった強靱な肉体に野獣のようなパワ

ーとスピード、研ぎ澄まされた五感で“獲物”を仕留めていくキャラクターだそう。悪名高きハンターの秘話をアーロンがどう演じるのか、日米同時公開となる12月13日(金)が待ち遠しい。本編には、スーパーヴィランの素顔を描くに際しての壮絶なバイオレンス描写も多々あるそうだ。

となると、インスタグラムで披露したような屈強ボディで“獲物”を追い詰め、激しいアクションを繰り広げるアーロンの姿が見られるのは間違いなさそうだが、もうひとつ、鍛え抜かれた肉体に注目が集まる理由がある。それは、彼が次なるジェームズ・ボンドになるのではないかと噂されているから。ダニエル・クレイグの『007』卒業以降、数多くの俳優の名がジェームズ・ボンド候補として挙がっては消えてきたが、イギリス出身で、アクションスターとしてのポテンシャルも高いアーロン・テイラー＝ジョンソンを望む声は多い。ただし、当のアーロンがこの件についてコメントすることは今のところなく、今冬は『クレイヴン・ザ・ハンター』、そして全米でクリスマス公開のホラー映画『ノスフェラトゥ(原題)』に集中している様子。よき家庭人にして、地に足のついた映画人である彼が、世界を飛び回るプレイボーイのスパイと化すのも見てみたい気がするが？



『クレイヴン・ザ・ハンター』

引き締まった強靱な肉体に野獣のようなパワーとスピード、研ぎ澄まされた五感で、一度狙った“獲物”は確実に仕留めるまでどこまでも追いかけるクレイヴン・ザ・ハンター(アーロン・テイラー＝ジョンソン)。そんな彼がいかにしてその力を得て、悪名高きハンターとなったのかに迫るスーパーヴィランの誕生譚。監督は『トリプル・フロントニア』のJ・C・チャンダー。クレイヴンの父親を、『グラディエーター』のラッセル・クロウが演じる。

12月13日(金)日米同時公開

MARVEL and all related character names: © & ™2024 MARVEL

次期“ジェームズ・ボンド”候補として噂される男が挑む
マーベル史上、最もバイオレンスなヴィラン。



GIORGIO ARMANI

In Your CLOSET*

グローバルな男の新世代ワールドタイム。

世界のどこにいても日付を調整する必要がない、革新的な差動システムを備えた〈パテック フィリップ〉の新作モデル。世界を旅するエグゼクティブの腕元には、風格と実用性を兼ね備えたこんな1本こそがふさわしい。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 恵 文=野中邦彦 構成=大嶋慧子
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara (CaNN) hair&make-up: Megumi Matsumoto
text: Kunitiko Nonaka (OUTSIDERS INC.) composition: Keiko Oshima

WATCH

パテック フィリップの “ワールドタイム 日付表示 5330モデル”

機械式時計が装飾的な意味をもつのは間違いないが、それはあくまで実用性があるからこそ。その意味で〈パテック フィリップ〉の新作“ワールドタイム 日付表示5330モデル”は、才色兼備を高い次元で実現した好例といえるだろう。12時位置の都市表示のタイムゾーンと日付表示が同期した、世界初となる機構を搭載。つまり日付調整の必要がいっさいないというわけだ。カジュアルながら気品あふれるデザインも魅力的。旅のスタイルを変えそうな1本だ。



腕時計1213万円(パテック フィリップ/パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター)、ジャケット121万円、ニット10万6700円、マフラー12万9800円(以上ジョルジオ アルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン)

Bowers & Wilkins



Bound by Excellence

Bowers & Wilkins Pi6

"For me, performance and design are equally important.
I need my headphones to look as good as they sound."

David Beckham

In Your CLOSET*

週末旅へと誘う美しきクラフトマンシップ。

ふと思い立って、ひなびた温泉宿へドライブ旅行——。そんな気分を盛り上げるのは、上質なクラフトマンシップを感じるこんなバッグ。クルマの助手席や後部座席で静かに存在感を放つ〈ボッテガ・ヴェネタ〉の“カバ”が旅情を誘う。

バッグ102万3000円、コート65万3400円、シャツ19万8000円、ネクタイ4万2900円、パンツ19万8000円、靴21万4500円、手袋参考商品
(以上ボッテガ・ヴェネタ/ボッテガ・ヴェネタ ジャパン)

BAG

ボッテガ・ヴェネタの ソフトタッチ カーフレザー“ラージ カバ”

ダブルフェイスのイントレチャートで知られる〈ボッテガ・ヴェネタ〉の代表作、横長トートバッグの“カバ”。今シーズン登場したのは、その特徴的なフォルムはそのままに、素材をシンプルなソフトタッチカーフに変更したモデルだ。わずかに光沢を放つカーフレザーの美しい風合いは、緻密で丁寧な職人技の賜物。内側にイントレチャートのポーチが付属しているのも心憎い。普段使いしやすい都会的な顔つきだが、あえてドライブ旅のお供にしたいくなる。



In Your CLOSET*

日常を優しく包み込むカシミアの風合い。

天然素材ならではの豊かな風合いとなめらかな着心地が楽しみ、“繊維の宝石”とも称されるカシミア。その奥深い魅力を“上質な日常着”として楽しめる特別なコレクションが(ジョルジオ アルマーニ)から登場した。



KNIT

ジョルジオ アルマーニの
“カシミア コレクション”

非常に軽くて暖かく、なめらかな手触りをもつ高級素材、カシミア。その魅力を誰よりも知るジョルジオ・アルマーニ氏(いつもネイビーのカシミアジャージTシャツを愛用していることで有名)が、カシミアを日常的に楽しめるアイテムとして提案したのが今回のコレクション。軽くストレッチを効かせて動きやすさにも配慮しつつ、ネイビーを基調にした上品で深みのあるトーンで表現。シンプルゆえにコーディネートアイデアも広がりそうだ。

右:ジャケット63万8000円、シャツ33万円、パンツ46万2000円、マフラー12万9800円、靴19万3000円(以上ジョルジオアルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン) 左:コート106万7000円(ジョルジオ アルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン)、その他はすべて右と同じ

In Your CLOSET*

ウインターリゾートをスタイリッシュに。

スキーリゾートでのオンとオフの着こなしを提案する〈ルイ・ヴィトン〉の“LV SKI”コレクション。ゲレンデではハイパフォーマンスなウエアに身を包み、アフタースキーは上品でリラックスしたリゾートスタイルを楽しみたい。

SKI WEAR

ルイ・ヴィトンの “LV SKI コレクション”

インバウンドの拡大とともに再注目されているのがウインターリゾート。従来はあくまでもアウトドアの範疇だったが、より自由でラグジュアリーなスタイルを提案しているのが〈ルイ・ヴィトン〉の“LV SKI”だ。大自然に馴染むシルバーやグレーをベースに、雪山からインスパイアされたグラフィックをあしらったウエアが楽しげ。素材も贅沢で、オーバーシャツではシルク、カシミア、ウールをブレンド。アフタースキーをスタイリッシュに彩ってくれる。



ブルゾン予定価格39万7100円、ニット22万4400円、パンツ予定価格25万8500円、マフラー9万2400円、帽子7万4800円、靴予定価格26万6200円、手袋予定価格13万4200円、バッグ50万3800円、眼鏡8万1400円(以上ルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス)

LEXUS

満ち足りたパーソナルタイムを〈レクサス〉で。

素の自分に戻れるラグジュアリーがあります。

クルマとは単なる移動手段ではない。求めるのは乗り心地と静粛性。
さらに自宅のように寛げる“プライベートな居住空間”であるのが理想だろう。
〈レクサス〉はあらゆる時間の過ごし方に対応する質の高い空間を提供してくれる。

写真=仲山宏樹 スタイリング=小野塚雅之 ヘア&メイク=勝間亮平
文=池田保行 構成=堀川博之 撮影協力=ピーター・ルーガー・ステーキハウス 東京
photo: Hiroki Nakayama (IL NIDO, STUDIO) styling: Masayuki Onozuka hair&make-up: Ryohei Katsuma
text: Yasuyuki Ikeda (ZEROYON) composition: Hiroyuki Horikawa special thanks: PETER LUGER STEAK HOUSE TOKYO



男:ジャケット 19万8000円、パンツ 6万2700円 (以上カルーソ ×シッパス/シッパス 銀座店)、タートルネック セーター 4万9500円 (ジョン スメドレー/シッパス 銀座店)、スカーフ 4万7300円 (フラテッリ ルイージ×シッパス/シッパス 銀座店)、靴 7万9200円 (トリッカーズ ×シッパス/シッパス 銀座店)、その他はスタイリスト私物 女:コート 13万5800円、ワンピース 15万7000円 (以上アスペジ トヨタトレーディング プレス ルーム)、その他はスタイリスト私物



次世代〈レクサス〉のアイデンティティである“スピンドルボディ”。ボディとフロントグリルがシームレスに一体化。これによって走行時の空力性能や冷却性能を高めるとともに、アイコンニックなデザインが個性を主張するものとなっている。



馬を操る“手綱”に由来する“TAZUNA”コックピット。「常に前方を見ながら、手元の操作をいかに安全に行なえるか」という考えに基づき、ステアリングスイッチとヘッドアップディスプレイを連携。運転に集中しながら、カーナビやオーディオ、その他機能の操作が手元や音声でも可能に

こ だわりのインテリアとオーディオに囲まれた、快適なリビングルームのまま外出できたらどんなに素晴らしいだろう。〈レクサス〉LMは、そんな空間や、大切な家族と過ごす“素に戻れる場所”を移動空間に変換できる最高級ミニバン。ともすればファミリーカーと見られがちだが“ラグジュアリームーバー”という新たなカテゴリーへ昇華。運転する人、乗せる人が自然体で過ごせる双方の快適性を極限まで追求した。それと同時に、最高級のインテリアを備えることで、お抱えの運転手がつくり出されるのだからたまらない。経営者や社会的地位のある人の移動手段として、まさに最高の贅沢を提供する移動空間。大切なパートナーや家族と、極上の時間を過ごすことができそう。



ドライビングのしやすさはもちろん、独立した後部シートは足元も広々快適。ファーストクラスのような独立シートはオットマン付きパワーシートを装備し、まるで自宅リビングのソファのように優雅に寛ぐことができる

どこの座席でも快適で パーソナルな設定が自由自在。

A: 6人乗りモデルのセカンドシートは専用独立シートを採用。オットマン付きパワーシートと大型ヘッドレストを完備し、3段階温度調整可能なシートヒーター、冷涼感に優れる吸い込み式ベンチレーションを搭載 B: パワースライドドア、ガラスルーフサンシェードなどのスイッチを集約したオーバーヘッドコンソール。左右どちらの席からも操作が可能 C: スマホ感覚で操作できるタッチ式コントローラー。わざわざカラダを動かさずことなく、シート、オーディオ、照明など、直感的な操作が可能

LEXUS LM

[レクサス LM]

- 全長×全幅×全高: 5125×1890×1955mm
- 車両重量: 2440kg
- ホイールベース: 3000mm
- 総排気量: 2393cc
- 最高出力: 202kW (275PS) / 6000rpm
- 最大トルク: 460Nm (46.9kgfm) / 2000 - 3000rpm
- 駆動方式: 4WD (四輪駆動)
- 定員: 6名
- 税込価格: 1500万円
- ※LM500h (version L 6人乗り)





買

い物やジムなどの行き帰り、子供の送り迎えなどで都内を移動するには、昨年11月に発売された全長4.2mを切るLBXが最適。ボディサイズにとられない存在感と上質さを併せ持ち、日常でカジュアルに使いたくなるコンパクトクロス。ドライバー

とクルマが一体となる乗り心地に加えて、タイヤコンシャスでダイナミックなプロポーションを実現したエクステリアが秀逸。また、気負うことなくリラックスできる上質な室内空間からも、コンセプトである“Premium Casual”をリアルに体感するに違いない。



水平基調でスッキリとしたインストルメントパネル造形により、開けた視界が印象的。9.8インチのタッチディスプレイは、スイッチのサイズや形など細部までこだわり、タッチする際の操作性に配慮されている。オーディオの音量操作は、運転時にも使いやすいダイヤルスイッチ式



コンパクトでありながら スポーティな走りと居住性を実現。

A:手のひらへのフィット感と高い質感を実現したシフトレバー。操作の際の姿勢と視線の変化を最小限に抑えるべく、ショートストロークで操作可能に
B:シートのセンターに刺繍を配し、シンプルな中にも糸の艶を生かした光沢感や立体感で奥深さを表現
C:庫内の凹凸を減らすことで広いラゲージルームを実現。分割可倒式(6:4)リヤシートを倒せば、さらにスペースが拡大する

男:パーカ 18万5900円、ニット 9万3500円、パンツ 9万7900円(以上イレプンティ/三喜商事) 女:ダウンベスト 19万6900円、ニット 12万4300円、デニム 6万2700円(以上イレプンティ/三喜商事)、キルティングバッグ5万8300円(アスベジ/トヨタトレーディングプレスルーム)、その他はスタイリスト私物

LEXUS LBX

[レクサス LBX]

- 全長×全幅×全高:4190×1825×1545mm
- 車両重量:1310kg
- ホイールベース:2580mm
- 総排気量:1490cc
- 最高出力:67kW(91PS) / 5500rpm
- 最大トルク:120Nm(12.2kgfm) / 3800 - 4800rpm
- 駆動方式:2WD(前輪駆動)
- 定員:5名
- 税込価格:460万円~
- ※LBX"Cool"2WD(FF)



企

業の重役や会社経営者が愛用している万年筆やペンは、いつの時代も〈モンブラン〉。身近に携えているだけで、ステータスを感じさせるステーションナリーの代表。そんな〈モンブラン〉が世界中のエグゼクティブから愛される理由は、エレガントな見た目と高い実用性。そして、細部へのこだわりから、伝統的なクラフツマンシップを感じるからだろう。今回のバッグもまさにそんな魅力を備えた逸品。"エンペロープ トートバッグ"と名づけられたこのバッグは、〈モンブラン〉のアーティスティック ディレクターのマルコ・トマセッタが日本からのリクエストをもとにデザインを起こした、日本の直営店限定品。リクエストは細部に及び、容量やデザインはもちろん、マチの幅、重さ、内側と外側のポケット、ストラップの長さなど、多岐にわたる。もちろん、お馴染みの万年筆のキャップの先端に付いた白い六角形のロゴ"ホワイトエンブレム"も健在。オンオフ問わず活躍する使い勝手のいいバッグだ。

バッグ19万9100 円、腕時計48万9500円(以上モンブラン/モンブランお客様サポート)、ジャケット35万9700円、ベスト13万5300円、ニット15万1800円、パンツ12万1000円(ダンヒル)、眼鏡5万3900円(ダンヒル/ケリング アイウェア ジャパンカスタマーサービス)

MONTBLANC

〈モンブラン〉から日本限定トートバッグが登場!

機能的でエレガントだから
オンオフ問わず頼りになる。

書くときの音にまでこだわって作っているというモンブランの万年筆。そんな世界最高峰の技術はまさにこのブランドならではの。その筆記具のDNAは当然バッグにも付随する。日本のリクエストのもとにデザインされた今回のバッグは容量、デザインともにオンオフ関わらずマッチして、使うほどに愛着が湧く。

写真=野口貴司、正重智生 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 恵 構成&文=大嶋慧子
photo: Takashi Noguchi, Tomoo Syoju (BOIL) styling: Kan Nakagawara (Ca.VV)
hair&make-up: Megumi Matsumoto composition&text: Keiko Oshima

Sartorial Envelope Tote Bag

[サルトリアル エンベロープトートバッグ]

“エンベロープ”とは封筒のことで筆記文化を推奨するモンブランならではの発想。タグにはペン先の形状を取り入れ、黒のバッグのブルーのライニングはインクを想起させる。内側のジップ式ポケットや筆記用具ループ、マグネット式のフラップなど実用的な機能満載。素材はサフィアーノレザー。11月1日(金)から発売で日本の直営店限定。W32×H30×D13cm。19万9100円(モンブラン/モンブランお客様サポート)

右ページのモデル使用はコレ!



color variation

Extreme3.0 Sling Bag with M LOCK 4810 Buckle

[エクストリーム3.0 スリングバッグ M LOCK 4810 バックル付]

人気のスリングバッグの新品ラベンダーグレー。コンパクトであっても収納能力に富んでいる。素材はレザーに“エクストリーム3.0”モチーフのエンボス加工を施してあるので傷もつきにくい。調節可能なストラップには、モンブランのアイコン的な“M LOCK 4810”バックルがあしらわれている。バッグは大きく開く作りで、中にポケットとカード用のスロットを備えており、取り出しもしやすい。W17×H29.5×D6cm。20万4600円(モンブラン/モンブランお客様サポート)

シャツジャケット50万1600円、ニット31万5700円(以上ゼニア/ゼニア カスタマーサービス)



右:内側には筆記用具のループが2つあり便利。右のボールペン6万9300円、左の万年筆12万2100円 左:外側にもポケットがあって実用的。カードホルダー3万4100円(以上モンブラン/モンブランお客様サポート)

Information

期間限定でシグネチャーサービスも。

11月1日(金)~12月31日(火)までモンブラン 銀座本店のほか、直営店にて今回のトートバッグを買くと、付属のタグに箔で有名なカリグラファーによるイニシャルを入れる特別なサービスが受けられる。タグは約2週間で出来上がる。



クライミングの世界から着想を得た“M LOCK 4810”バックルがストラップに付属しており、デザインのポイントに。ここにもお馴染みの“ホワイトエンブレム”があしらわれている



THEONITSUKA.COM



2. BROGUE

[ブローグ]

ジャケット姿には鮮度を、
カジュアルには重厚さを。

神戸牛レザーを使用し、上品な光沢感とマットなデザインを組み合わせることで、豊かな表情を与えたフルブローグシューズ。ダービーと同じシューカソール仕様で、ミッドソールを新素材に変更するなど、従来モデル以上の快適さを追求した設計も見逃せない。クラシカルな着こなしとカジュアルな使い、どちらにも新鮮さをもたらすバランスが絶妙。4万9500円(ジ・オニツカ/オニツカタイガージャパン)

→シューズはP26と同じ



1. DERBY

[ダービー]

新感覚ストレートチップは
エレガントかつ快適志向。

ドレスシーなアッパーにラキッドなシャークソールを融合した、ハイブリッドデザインが新鮮。日本のクラフトマンシップによって職人が丁寧に作り込み、神戸牛レザーの上品な光沢が引き立つ佇まいに仕上げた。端正な佇まいを損ねずに軽やかな履き心地を追求した設計は他モデルにも共通する特徴で、優れたクッション性と柔軟性がもたらす快適さは、さすがの(ジ・オニツカ)。4万8500円(ジ・オニツカ/オニツカタイガージャパン)

→シューズはP25と同じ



4. BLUCHER LO

[ブルッシャーロー]

ツイード使いで遊び心も華もあるジャケパン姿に。

1958年発売の第1号バスケットボールシューズを、ドレス風で現代に蘇らせるのがこの「ブルッシャーロー」。種から疋着る赤ラインがツイードの配色と小気味よく調和し、ジャケパン姿をセンスよく彩ってくれる。こちらのツイードの複雑縞の織目が織りなす立体的なテクスチャーが、品格をアップし、着こなしのポイントにもなる。5万5000円(ジ・オニツカ/オニツカタイガー・ジャパン)

ジャケット7万2600円、パンツ5万1700円(以上オニツカタイガー/オニツカタイガー・ジャパン)、ニット11万8800円(ムーレー/コロネット)、その他はスタイリスト私物

▶シューズの詳細はP31をCHECK!



3. BIT LOAFER

[ビットローファー]

旬のゆったりシルエットが魅力的に引き立つ足元に。

ゆったりしたシルエットのセットアップの足元をパタリとよくかきシャープに引き締めてくれる「ビットローファー」。季節いびき仕立てのモカシンスタイルなどの伝統的な意匠に、立体的なテクスチャーを織りなすブラック×ホワイトのツイードを採用。休日のテラードスタイルに、シックで上品なアクセントを添える1足。5万5000円(ジ・オニツカ/オニツカタイガー・ジャパン)

ジャケット参考商品、パンツ参考商品(以上オニツカタイガー/オニツカタイガー・ジャパン)、ニット8万8000円(ヴァルム/コロネット)、その他はスタイリスト私物

▶シューズの詳細はP30をCHECK!

多

彩な着こなしに映えて、なおかつスタイリングの幅が広がるような1足があったらどんなに便利なことだろう。そんな思いを理想的な形で叶えてくれるのが、(ジ・オニツカ)が手掛ける新時代のドレスシューズ。選択肢豊富な靴のアップは、いずれも職人が美しく吊り込んだクラフトマンシップあふれる仕上がり。日本の代表的な皮革産地・姫路のタンナーが仕上げる神戸牛レザーもまた、靴としてのクオリティの高さを感ぜさせる出来栄だ。それでいて、ソールは軽快なスニーカー仕様なのだが、エレガントさを損なうことなく個性を印象づけられるそのハイブリッド感が絶妙。フォーマルな装いはもとより、気取らず着たいセットアップにもすんなりと馴染み、着こなし全体を魅力的に引き立ててくれる。もちろん、(オニツカタイガー)のDNAが息づくブランドだけに、性能面も折り紙つき。クッション性と耐衝撃性を高いレベルで両立した履き心地も、特筆すべき快適さだ。



THE ONITSUKA

ビジネスリーダーの足元を華やかに彩る(ジ・オニツカ)。

タキシードからセットアップまで
スタイリングの幅が広がるドレス靴。

ジャケットやスーツの装いは、かつてよりルールに縛られず自由に楽しめるように。足元のお洒落も然りて、特定の着こなしに映える1足というよりも、多彩な装いに

対応できて、その装いを魅力的に輝かせてくれる1足が理想だ。(オニツカタイガー)から生まれた話題のブランド(ジ・オニツカ)が、その理想をあざやかに叶えてくれる。

写真=野口貴司、正重智生 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 順 文=遠藤 匠 構成=大嶋睦子
photo: Takashi Nagachi, Tomoo Svyja(DOH) styling: Ken Nakagawara (CaAN)
hair&make-up: Jun Matsumoto text: Takumi Endo composition&text: Keiko Oshima

2. BROGUE

[ブローグ]

クラシックスーツの新たな魅力を足元から引き出す。

ダブルブレストスーツが引き立つブルブローグのデザインを採り入れた、クラシックな佇まいの「ブローグ」。マッドレザーでコントラストを演出したウイングチップとシャークソールが、足元でさりげない個性を放つ。目を引く赤いラインが、ガラスレザーで切り出したアップルの艶やかさとともにスーツのシャープさを引き立ててくれる。4万9800円(ジ・オニツカ/オニツカタイガー・ジャパン)

バッグ3万3000円(オニツカタイガー/オニツカタイガー・ジャパン)、コート53万9000円(ルカ/グロリア エストネーション)、スーツ16万4000円、シャツ2万4200円(以上エストネーション)、ネクタイ7万5800円(アット・ワン・ダッチ/エストネーション)、オックスフォード1万6500円(ブレイク/エストネーション)

▶シューズの詳細はP23をCHECK!

1. DERBY

[ダービー]

タキシード姿を引き立て新鮮さと快適さをもたらす。

エレガントなストレートチップの「ダービー」。シンプルでベーシックな1足がと思いきや、赤いラインが目玉を引くシャークソールで個性際立つ足元に、神戸牛レザーで美しく仕立てた光沢のあるアップルが、ベルベットシューズを象徴したフォーマルな装いに品よく映える。曲線性セクシーな個性を向上させた新設計のソールを採用し、見た目のみならず一段上の快適さをもたらす。アウトソールを彩る赤いラインで、個性の演出効果も期待できる。4万9800円(ジ・オニツカ/オニツカタイガー・ジャパン)

▶シューズの詳細はP22をCHECK!

(ジ・オニツカ)とは?
日本のファッションブランド(オニツカタイガー)アーカイブをアレンジしたヘリテージスタイルから、モダンファッションウィーブで発表するモードなスタイルまで、幅広いバリエーションで世界的人気を集め、今年で生誕75周年を迎えた、レザーアイテムを中心としたフォーマルな(ジ・オニツカ)は、日本国内外の最先端都市に店舗店を構える。

▶シューズの詳細はP22をCHECK!



4. BLUCHER LO

【ブルッチャーロー】

スポーティな装いと
親和性も高いコンビ靴。

1950年に発売され、話題を集めた“OK バスケッ
トボール”という歴史的バスケットボールシューズ
に着想を得て、弾みのあるシャークソールを組
み合わせたローカットシューズがこの“ブルッチ
ャーロー”。ハイブリッドシューズとしては出色
の美しさを実現したフォルムや革自体の上質さが
印象的で、ツイードの切り替えの華やかさや遊び
心もよく印象づけられる。5万5000円(ジ・オニ
ツカ / オニツカタイガー・ジャパン)

→シューズはP28と同じ



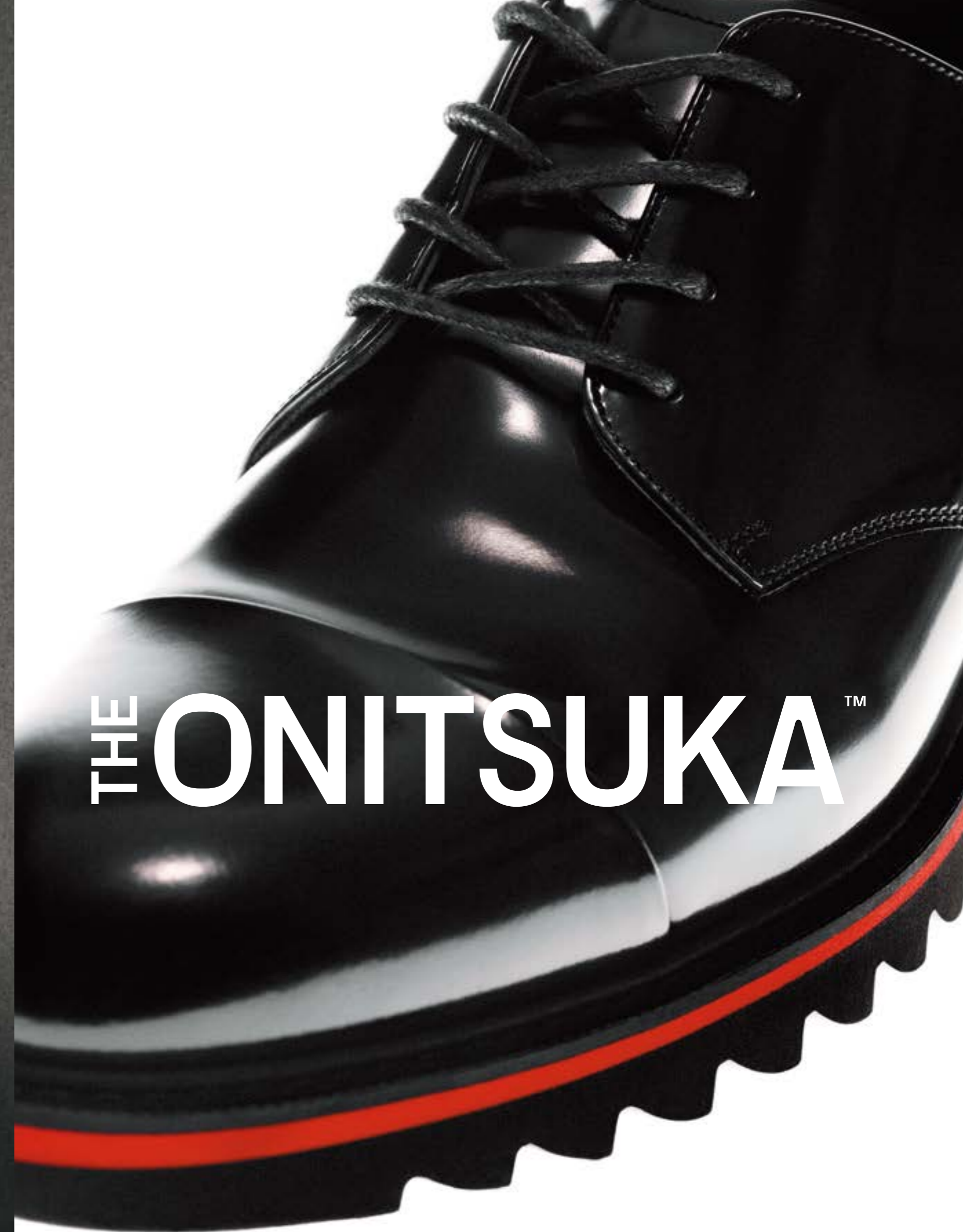
3. BIT LOAFER

【ビットローファー】

トレンドを感じさせる一方、
タイムレスな魅力も放つ1足。

カジュアルにもジャケットスタイルにも個性をも
たらす1足としてもちようどいいボリューム感の
ビットローファー。木さや質感が異なる糸を機織
量かに織り上げたツイードが、印象的な足元を演
出。取り外し可能な中敷は硬さが異なるフォーム
材を融合したもので、アーチの沈み込みを防ぎ、踵
のくらつきを軽減する効果が。肉厚なソールが、冬
の寒いアクセントにも。5万5000円(ジ・オニツ
カ / オニツカタイガー・ジャパン)

→シューズはP27と同じ



THE ONITSUKA™



TATRAS

ラグジュアリー
品よく贅沢なくタトラスの新作。

スーツ姿もカジュアルも
アウター次第で魅力的に。

スーツの装いならそれをあえて男らしく、逆にカジュアルな装いなら品よく都会的な印象に導いてくれる。そんな演出効果が期待できるアウターがあったら、冬のお洒落は断然楽しくなるに違いない。それを叶えてくれるのが、〈タトラス〉の新作。高品質なホワイトグースダウンを贅沢に使っているので、暖かさも期待値以上に違いない。

写真=仲山宏樹 スタイリング=榎本匡寛 ヘア&メイク=高山ジュン 文=遠藤 匠
photo : Hiroki Nakayama (IL NIDO, STUDIO) styling : Masahiro Enomoto (remix)
hair&make-up : Jhun Takayama text : Takumi Endo

1. MODS COAT

スーツに羽織るだけで
男らしい色気ある装いに。

モッズコートに都会的なデザインに昇華した、ダウンコートの“ゴールドン”。コートとはいえ、テラードジャケットの裾が隠れて見栄えよく着られる着丈が絶妙で、ウールナイロンのボディに映えるニッケルカラーのドットボタンやスピンドルのストッパーも高級感を印象づけるアクセントに。フードに付いているポーランドダウンのファーは着脱可能。内側のドロークラウドを絞ればシルエット変化を楽しむこともできる。モッズコート26万4000円(タトラス/タトラスコンセプトストア 日比谷店)

中に着たテラードジャケット14万3000円、パンツ5万1700円(以上ピーティードリノ/エストネーション)、シャツ2万6500円(イートン)、眼鏡5万8300円(アイヴァン/アイヴァン 東京ギャラリー)、その他はスタイリスト私物

2. DOWN JACKET

休日カジュアルに馴染みつつ
品格が薫る都会派ダウン。

〈タトラス〉における人気モデル“ディナンド”。上質ウールとナイロン糸で作られたハイブリッド素材は、軽い着心地かつハリがあって美しい光沢があるのが魅力。品格漂う質感が、カジュアルなダウンながらも街映えする大人カジュアルに導いてくれる。美しく磨き上げたメタルファスナーも特徴的な意匠で、縦方向に走らせたポケットがラグジュアリーさを印象づけるアクセントに。フードを取り外せば、スタンドカラーのブルゾンとしても着こなせる。ダウンジャケット 19万8000円(タトラス/タトラス コンセプトストア 日比谷店)

中に着たニット9万7900円、ストライプパンツ(スーツ価格)53万3500円(以上イレブンティ/三喜商事)、その他はスタイリスト私物

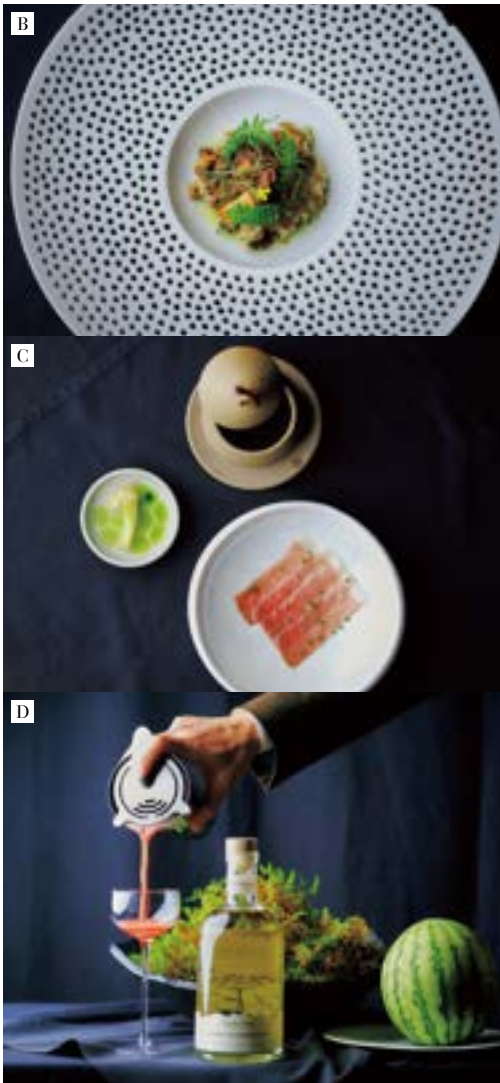
冬のお洒落の仕上がりは、アウター次第。それによって着こなしを新鮮かつ魅力的に見せることもできるし、お洒落に整えることもできる。もちろん、寒さから身を守る防寒性も期待する要素の一つだ。そんな期待を一身に背負ってくれるのが、〈タトラス〉の新作。たとえば、スーツスタイルの相棒として魅力的なのが、右のモッズコート。表地が高級感を放つウールナイロンなのでスーツに品よく馴染む一方、ミリタリーテイストがタフさをもたらしてくれる。あるいは、休日カジュアルの場合は、左のダウンジャケットがよき相棒に。上質なウールとナイロンの混紡素材だから、軽い着心地ながらも光沢がありラグジュアリーな印象もちゃんとある。さりげなく街映えする装いを演出してくれるはずだ。

Gastronomic City Calgary*

カナダ最先端のレストランを、カルガリーに訪ねて。

世界の美食地図に加わる注目のレストランがカルガリーにある。
〈エイト〉は地元カナダの食材や食文化を駆使した料理の数々で、
“カナディアン・ガストロノミー”という新たなジャンルに挑む。

取材・文＝中村孝則 text：Takanori Nakamura



A: “レイクトラウト”。地元の天然のレイクトラウトを低温調理し、上にそのイクラを添えた逸品 B: “ベニソン”。マッシュルームライスの上に、ガーリック風味で仕立てたカナダの鹿肉を添えて C: “カマトロしゃぶしゃぶ”。カナダ産の本マグロのカマトロをスライスにし、しゃぶしゃぶで食す D “ウォーターモス”。きゅうりのポタニカルを使ったカルガリーのジーンに森で収穫した苔を漬け込み、スイカで合わせたカクテル E: 世界的に知られるカナダNO.1シェフ、ダレン・マククリーン F: 〈エイト〉は8席だけの秘密のレストラン。旅先で迷ったら是非訪れてほしい

世 世界の食の専門家やフーディが、今注目するレストランがカナダの、しかもロッキー山脈の麓のカルガリーにあると聞けば、誰もが驚くに違いない。かくいう筆者も、その1人だった。もっとも、シェフのダレン・マククリーンは、Netflixの世界的な料理コンテスト“ザ・ファイナル・テーブル”でカナダ唯一のファイナリストに輝いたことから国内では知られた存在だ。カルガリーで彼が経営する複数の店は、どれも超人気店である。なかでも、今回紹介する〈エイト〉は“未来のカナダ料理に挑んでいる”と専門筋からの評価も高く、カウンター8席の完全予約制で、しかもゲストは原則撮影厳禁ということもあり世界的に注目されている。先だって念願の訪問が叶い、そのレベルの高さに驚いたので、さっそくご紹介したい。

〈エイト〉の料理は、ダレン本人がその日に考案した12のコース料理と、それに合わせたペアリングのドリンクが用意される。この店の料理の味わいどころは、大きくふたつある。ひとつは、地元カルガリーを中心に、ほぼカナダの厳選された食材にこだわっていること。「カナダは食材の宝庫じゃないか！」と筆者も舌を巻いたが、海の幸、山の幸とバリエーションが豊富なのだ。カルガリーはロッキー山脈の麓の標高1000mを超える場所に位置するが、この山麓には、野菜やキノコやジビエ、サケ・マス類など、実に多彩な食材がある。もちろん、カナダは本マグロや甲殻類や牡蠣など、海の幸も素晴らしい。ダレンは、そうしたカナダの豊富な食材を使って世界の最先端の料理に落とし込んでいる。

この店のもうひとつの味わいどころ

は、“未来のカナダの美食”に挑んでいること。考えれば、私たちの中には、いわゆる“カナダ料理”なるもののイメージは、確立されていない。カナダが移民大国であり、多民族料理が混在していることも理由のひとつなのだが、ダレンはそれを逆手にとって「カナダの民族的なモザイクこそ、カナダの食の魅力になり得る」という。

実際に彼の料理は、フランス料理やイタリア料理だけでなく、中華やエスニックや南米の調理法を駆使して、カナダでしか味わえない美味しさに挑んでいる。嬉しいのは、彼が日本料理や鮨に大きなインスピレーションを受けていることだ。日本でも修業経験が豊富な彼は、日本的な“旨味”を味の骨格のひとつにしているから、我々の舌に合わないはずはない。日本からカルガリーは直行便があるので、旅先で迷ったら是非訪れてほしい。

DATA

EIGHT

[エイト]

631 Confluence Way Calgary AB,
T2G1C3 CANADA
☎ +1-403-457-2153
contact@eightcdn.ca
https://eightcdn.ca/



取材・文 中村孝則 美食評論家

1964年神奈川県山生まれ。ファッションからカルチャー、美食などをテーマに新聞や雑誌、テレビで活動中。主な著書に『名店レシビの巡礼修業』（世界文化社）がある。2013年より『世界ベストレストラン50』の日本評議委員長も務める。'22年春、JR九州が運行する「ななつ星in九州」の車内誌の編集長に就任。

クラシックなジャケットが恋しい季節。手元から覗かせるなら、男心をくすぐる機械式時計というのは相場が決まっているけれど、大きめなケースやスポーティすぎる意匠は、ワル目立ちすることがあるかも。とはいえ格式ある小ぶりのドレスウォッチは、少しインパクトに欠ける場合もある。目を引く主張がありつつ、エレガンスも備えたモデルこそが適役だ。そんな難題を解決する朗報が届いた。オメガの名作“コンステレーション”に、メテオライト(隕石)で作ったダイヤルを配したモデルが登場した。“星”をテーマにしたロマンあふれるコレクションに、宇宙からのリアルな贈り物を乗せたと聞けば気分が上がる。しかもそのモダンな模様は、ひとつとして同じものはない。まさに唯一無二のエレガンス。ジャケット姿のアクセントにこんなに理想的なものはない。

OMEGA

〈オメガ〉の名作時計で夢とロマンを仕事にも。
唯一無二の隕石ダイヤルが
ビジネスでも個性を発揮する。

着こなしの幅が広がる季節。スタイルを左右するキーワードは、小物選びだ。〈オメガ〉の歴史ある名作シリーズのひとつ“コンステレーション”の新作は、そんな今の時期の“主役時計”にぴったり。メテオライト(隕石)をダイヤルに配した唯一無二の個性と品格が、適度に手元で主張する。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 順 文=長谷川茂雄 構成=大嶋慧子
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara (CaNN)
hair&make-up: Jun Matsumoto text: Shigeo Hasegawa composition: Keiko Oshima

CONSTELLATION

【コンステレーション】

これまで星をテーマにしたロマンチックなモチーフをあれこれ展開してきた著名シリーズに、地球上で最古といわれる“ムオニオナルスタ隕石”をダイヤルに配した新作が登場。45億年以上の時を経たひとつひとつ異なる模様を、最先端の技術で色づけを行い、魅惑のタイムピースに仕上げている。ケース径41mm、自動巻き、パワーリザーブ60時間。左: 18Kムーンシャインゴールドケース&ブレス654万5000円 右: SSケース&ブレス149万6000円(以上オメガ)

洋服はすべてスタイリスト私物



モデル着用

World-Class Luxury Eyes Japan*

日本上陸を控えた極上ホテル、そのフラッグシップを紹介。

今年から来年にかけて、世界を席卷中のウルトラ・ラグジュアリーなホテルブランドが日本に初上陸する予定。そこで中でも注目のふたつのホテルブランドのフラッグシップホテルをご紹介します。ブランドコンセプトや究極の洗練ぶりを、予習しておきたい。

text: Chieko Koseki 文=古関千恵子

01 大邸宅を垂直にしたら？ 斬新な発想のタワーホテル。

Rosewood Hong Kong

【ローズウッド 香港】



今年、沖縄に開業が見込まれる〈ローズウッド宮古島〉。このホテルグループの誕生は、1979年の米国ダラス。貴族の邸宅を改築し、ホテル&レストランとして開業したのがはじまり。今では世界21カ国、33のプロパティを数える。ブランド哲学は“センス・オブ・プレイス”。その土地がもつ歴史・文化・感覚を反映した、ホテルやリゾート作りが特徴だ。そのフラッグシップとなるのが、コチラ〈ローズウッド 香港〉。

尖沙咀で今最もホットなビクトリアドックサイドに位置する。NYを拠点とする建築家トニー・チーが、ブランドの起源である貴族の邸宅をモチーフに、

“垂直にした邸宅”を構想。複合ビル“ローズウッドタワー”に413室を展開。各部屋は香港屈指の広さを誇り、レジデンシャル・スタイルのくつろぎが味わえる。注目の客室は“グランド・ハーバー・コーナー・スイート”。

ミシュラン1ツ星の広東料理とインド料理レストランや、“アジアのベストバー50”に選出されたバーなど、フード&ビバレッジ施設は12を数える。各ホテル共通のスパ施設“アサヤ”は2フロアにまたがり、広さなんと3716㎡というから驚きだ。

究極の贅沢と、その土地らしさ。〈ローズウッド宮古島〉でどう表現されるのか、今から楽しみだ。

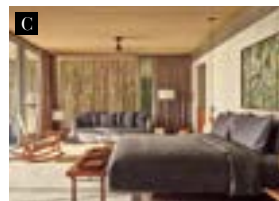


A: 2023年の“アジアのベストバー50”の9位にランクインしたバー〈ダークサイド〉。希少な熟成スピリッツとクラシックなカクテルを B: ミシュラン1ツ星の広東料理レストラン〈レガシーハウス〉 C: 123㎡の“グランド・ハーバー・コーナー・スイート”。レジデンシャルな意匠を大切にしつつ、圧倒的な眺望

DATA

Victoria Dockside, 18 Salisbury Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong
☎+852-3891-8888
<https://www.rosewoodhotels.com/en/hong-kong>

4つの人工島を合体させ、3つのリゾートが共存。その共有エリアには、おしゃれなビーチクラブも



A: レストランが集まるエリアにメインプールが。周囲のヤシの木々に籐カゴのイスを吊るすなど、遊び心とナチュラルさが融合 B: 緑に包まれ、まるでシークレットガーデンのような趣のスパ。カプセルの中で浮遊感を味わうフローティングボットなど最新機器も C: ヴィラは水上とビーチがあり、レジデンシャルなデザイン

02 最先端に挑む、持続可能なライフスタイル系。 Patina Maldives, Fari Islands

【パティナーモルディブ・ファーリア일랜드】

関

西万博に向けて、大阪城の真向かいに来年春、開業予定の〈パティナー大阪〉。

コチラは“カベラホテルズ&リゾート”の最新ブランド。“カベラ”といえば、米国の旅行誌『トラベル+レジャー』のワールドベストアワードにおいて、ベストホテルブランドに2023年から連続して選出されている名門だ。

パティナーのコンセプトは“クリエイティブな思考を持ち、サステナビリティにもこだわる旅行者に向けたライフスタイルブランド”。その第1号となるのが、モルディブの北マレ環礁にある〈パティナーモルディブ・ファーリア일랜드〉。4つの島を合体させ、3つのリゾートからなるモルディブ初のリゾート・コンプレックスだ。

全長約1.1kmの島は2021年に開業後も、さらに手が加えられ新たな施設

がお目見え中。ユニークなのは、ジェームズ・タレルなどの作品が敷地内にちりばめられ、まるで野外美術館のよう。最新のフローティングボットやワッツプールの備えたスパ、2人乗りの潜水艦にプロサッカーチームのトレーニングセッションなど、モルディブに数々の新風を吹き込んでいる。ほかのリゾートとの共有エリアを含め、レストランの選択肢が多いのも特徴のひとつだ。来年夏には京都東山に〈カベラ京都〉が開業予定。快進撃は進む。

DATA

North Malé Atoll, 20026
The Republic of Maldives
☎+960-4000-555
<https://patinahotels.com/ja/maldives-fari-islands>

Order Here

Open 10:00

Close 20:00

OPEN

CHESTER COAT

[チェスターコート]

素材はウールナイロン。フード一体型の
マットナイロン素材の前立ては取り外
しが可能。フロントは3つボタンで、サイ
ドにウエルトポケット付き。センターベ
ントになっているので、軽快に動ける。
19万9100円(ヘルノ/ヘルノ・ジャパン)

パンツ6万500円、シューズ8万6900円
(以上ヘルノ/ヘルノ・ジャパン)、その
他はスタイリスト私物

大人の貴族を持つコートといえ
ばやはりチェスターコート。
長めの丈でクラシカルな印象
もあり、フォーマルなスーツの上に欠か
せない。さらに、休日はデニムの上に気軽
に羽織るなどオフタイム着としても着ら
れて、汎用性の高いコートといえる。

今回紹介する〈ヘルノ〉のチェスターコ
ートはウールにナイロンをブレンドして
いるので、柔らかく軽量。デザインはドロ
ップショルダーで、スーツを着ていると
きでも動きやすくアクティブに活動でき
る。取り外し可能なフード一体型のナイ
ロンの前立ては、ポリエステルの中綿入
りで暖かさも確保。しっかり閉まるので、
マフラーの代わりにもなる。休日に穿き
慣れたデニムパンツやシューズを合わせ
たカジュアルな着こなしでも上品見えが
叶う。また、このコートはボタンが見える
タイプなので、一番下のボタンをとめな
い“アンボタンマナー”を採用するとより
粋な着こなしになる。お試しあれ。

HERNO

軽さと暖かさを両立した〈ヘルノ〉の新作。
オフタイムにも活躍する
快適なチェスターコート。

スーツの上に毎日着るコートは当然軽くて快適なものがいい。さらに
細身のものより適度な余裕も必要になってくる。今回の〈ヘルノ〉の
新作チェスターコートは、まさにそんな理想的な軽さとサイズ感を
兼ね備えた1着。取り外し可能な前立てを付ければ防風効果もアップ。
オフタイムの着こなしのエlegantなポイントにもなりそうだ。

写真=野口貴司 スタイルング=中川原 寛
ヘア&メイク=松本 順 構成&文=大嶋慧子
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara (CaNN)
hair&make-up: Jun Mstsumoto composition&text: Keiko Oshima

ACTIVE WELLNESS*

鍛えることで信頼感が高まり、人生も充実する。

〈トータル・ワークアウト〉で提唱している“アクティブ・ウェルネス”の実践者をゲストに迎え、代表の池澤 智と語り合ってもらおう本連載。今回は、印刷業界に新風を吹き込む〈帆風〉の代表取締役会長・犬養新嗣に、カラダを鍛えるメリットを語ってもらった。

写真=丸益功紀 構成&文=遠藤 匠

photo: Koki Marueki (BOIL) composition&text: Takumi Endo



カラダと向き合うようになると人生の充実度が全く違います

カラダが変わると周囲への影響力も変わります

トータル・ワークアウト
代表 池澤 智

日本におけるパーソナルトレーナーの先駆けとなったケビン山崎にアメリカで師事し、その確実な結果と実績から多くの俳優やモデル、文化人のボディメイクを30年近く手掛けているカリスマパーソナルトレーナー。

帆風
代表取締役会長 犬養新嗣

2013年に34歳で代表取締役に就任し、印刷業にサービス業の精神を導入。商業印刷を中心に様々な新規事業を展開し、印刷市場が縮小し続ける中、右肩上がりの成長を成し遂げた。2023年に代表取締役会長に就任。

印

印刷産業という縮小傾向の市場の中で次々と新しい発想を打ち出し、右肩上がりの成長を成し遂げている〈帆風〉率いる犬養新嗣。卓越した経営手腕の持ち主である一方、〈トータル・ワークアウト〉のメンバーでもあり、カラダを鍛えることに対して高い意識を持って取り組んでいる。はたして、どんな思いで日々のトレーニングと向き合っているのだろう。

池澤 智 (以下池澤) 犬養さんは、〈トータル・ワークアウト〉の1号店が三田にあった頃に入会されていましたが、本格的に通いはじめたのはそれからしばらく経ってからですね。

犬養新嗣 (以下犬養) そうですね。もともとは太っていて一時期はこの平均的な身長で体重が90kg以上ありました。自分に対してあまり、カラダも全く動かさずに好きなものを好きなだけ食べる生活でしたから当然ですね。そんな自分が29歳になったとき公私ともに人生の転機ともいえる紆余曲折を経験し、そこで見返そうではないですが、人としてさらに成長していきたいと思い、ここで本気でトレーニングをするように。半年くらいで体重を落とし、そこから20年、洋服のサイズは全く変わっていません。

池澤 犬養さんは34歳で代表取締役に、”プラ

イベントが充実していないと仕事が充実しない”という考えで社員のプライベートを大切にしている経営に取り組んできましたが、その中でカラダと向き合うことの大切さはどんなふう感じていますか。どんなモチベーションでトレーニングをしているのかも教えてくださいませんか。

犬養 私がトレーニングをしていることの大きな理由のひとつとして、カラダを鍛えていると仕事ができるように見えるということがあります。ビジネスにおける身だしなみというものはやはり非常に大切なことで、カラダを鍛えていればスーツ姿の第一印象も違いますし、自分のカラダを管理できているという意味でいい印象も与えられ、信用度も高まります。かつてはあまり仕事と結びつけて考えていませんでしたが、筋トレの追い込みでハートが強くなったり、“無”になる感覚で思考もリセットできるなど、精神とカラダの両方にメリットがあることを実感するようになりました。大袈裟ではなく、僕自身はトレーニングをはじめて人生が変わりました。充実度が全然違いますね。強要するつもりはありませんが、社員にもその素晴らしさに気づききっかけを与える環境作りはしてきましたし、今後も継続していくべきだと思います。

池澤 ビジネスでもカラダと向き合うメリットを

実感されていますが、20年以上もトレーニングを継続できている理由はなんだと思いますか。

犬養 いくつかありますが、〈トータル・ワークアウト〉では最先端のトレーニングをアップデートして取り入れていて、それを実践させてくれるので全く飽きないんですね。僕は会社の運動会の50m走で3年連続で優勝した経験がありますが、46歳になった今が人生で一番足が速い(笑)。それもここでのトレーニングのおかげです。現在、会長として会食する機会も多いのですが、ここで学んだ知識で食事によるカラダの管理ができるし、カラダのどこかが痛いときはどこをどう伸ばせばいいかわかる。自分のカラダを自分でコントロールできることも大きな自信に繋がっています。

Check!



食べながら強く美しくなるために。

ボディメイクサポートサプリメントの“スリーディフェンス”。植物性由来素材で、ダイエットの成功を妨げる高カロリー食の三大元凶となる油、炭水化物、糖にアプローチ。会食が多いライフスタイルでも食べて後悔しないボディメイクの新習慣に。8640円。

BELL & ROSS

モータースポーツに着想を得た
〈ベル&ロス〉の“BR-X5 RACING”。

強さと軽快さを兼ね備えた
ハイテク素材のスケルトン時計。

歴史的にも親和性の高い、モータースポーツと高級機械式時計。その魅力を
独自の世界観で楽しませてくれる新作が、〈ベル&ロス〉からお目見えした。
軽量かつ強靭にして、レーシングカーの計器パネルに着想を得たスケルトン
文字盤の存在感も十分。タフで魅力的な手元の演出にひと役買ってこれぞだ。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 順 文=遠藤 匠 構成=大嶋慧子
photo : Takashi Noguchi styling : Kan Nakagawara(CaNN) hair&make-up : Jun Matsumoto
text : Takumi Endo composition : Keiko Oshima

モータースポーツの世界観をど
う表現するのかは、高級機械
式時計ブランドにとっては腕
の見せどころ。もしそれを独自のスタイルで楽しみたいときは、迷わず〈ベル&
ロス〉の“BR-X5 レーシング”の新作を選
ぶべきかもしれない。まず、目を引く文字
盤はレーシングカーの計器パネルのスタ
イルを採用したもので、センターセコン
ドに1/4 秒単位の正確なチェック模様
の目盛りを付けたデザインが、その精悍
さに拍車をかける。外周のフランジに分
、文字盤のクリスタルガラスで時を表示し
ているので奥行きが感じられ、視認性も
極めて高い。加えて、カーボンファイバ
ーのベゼルインサートが目を引きケースは
マイクロプラスト仕上げのチタン製で、
見た目と同様のタフさを誇る。それでい
て、身につけていることを感じさせない
ような軽さだから、ドライブの相棒とし
てもまさに適任というわけだ。

洋服はすべてスタイリスト私物



BR-X5
[BR-X5]

“BR-05”コレクションを、さらに高機能化
したモデル。ケニッシとのパートナー
シップで開発されたキャリバーBR-Cal.323は、
スイス公認クロノメーター検定協会が認め
る高い精度と約70時間のパワーリザーブ
を誇る。ケースサイズ41mm、自動巻き、SSケ
ース&ブレス、100m防水。105万6000円(ベ
ル&ロス/ベル&ロス 銀座ブティック)

variation



BR-X5 RACING

[BR-X5 レーシング]

9時位置のパワーリザーブ計はスポーツカ
ーのメーターをイメージしたデザインで、
モータースポーツの世界観を存分に感じ取
れる。“BR-X5”シリーズを特徴づけるサン
ドイッチ構造のケースの横顔は迫力十分。
スモークスケルトン加工の文字盤も印象的
だ。世界限定500本。ケースサイズ41mm、自
動巻き、100m防水、モデル着用のチタンケ
ース&ラバーバンド166万1000円、チタン
ケース&ブレス、181万5000円(以上ベル&
ロス/ベル&ロス 銀座ブティック)



ケースバックからは、Bell & Ross
サインを施した振り子式ローター
に代表されるキャリバー BR CAL.
323のディテールを鑑賞できる

TAMAGAWA TAKASHIMAYA

〈玉川高島屋〉のコスメ売り場が魅力的に。

メンズのためのスキンケア&ヘアケアがますます充実。

ゆったりと快適な空間でショッピングが楽しめる〈玉川高島屋〉。この秋のリニューアルに伴い、コスメフロアも新しく生まれ変わり、その多彩なラインナップが評判だ。気になるメンズコスメは、ブランドコスメが充実したコスメ売り場と、オーガニックアイテムが揃う〈ベルナチュレール〉に集結。今回はその中でも、大人の男性におすすめのヘア&スキンケアアイテムを厳選して、お届けしよう。

文=前田聡美 構成=大嶋慧子 text: Satomi Maeda composition: Keiko Oshima

本館1F コスメフロア



E
乾燥による肌のダメージが出やすい目元には、専用の美容乳液で年齢に応じたお手入れを。こちらはノンオイルで軽やかな乳液タイプ。気軽に使えて毎日のケアにピッタリ。

デリケートな目元の肌をキリッと引き締め、生き生きとした表情に。しっとりした質感で、肌にスッと馴染み、目元の肌を整える美容乳液。"クラランスメン フェルムテ アイバーム" 20ml。7700円(クラランス/玉川高島屋)

D
上質な精油にこだわった〈スリー〉のメンズライン。なかでも肌馴染みのよさで人気なのが、ハーブ由来のエキス配合の化粧水。肌と一体化するような高い浸透感で角質層までしっかりと潤う。

肌荒れを防ぐドクダミエキス配合で、男性の肌に多い古い角質によるゴワつきをなめらかに整える。皮脂と親和性の高い保湿成分が、オイリーな肌にも馴染む。"balancing stem lotion" 120ml。5940円(スリー/玉川高島屋)

C
長年にわたり男性肌に特化した皮膚科学研究を続ける〈SHISEIDO MEN〉。肌のきめを整えるこの美容液は、髭剃り後のケアから乾燥まで、これ1本で多岐にわたって使える優秀アイテム。

椿の種子、花、葉のエキスを取り入れ、男性の肌の乾燥や肌荒れ予防にアプローチする。"アルティミュン パワライジング コンセントレート" 30ml。8250円(SHISEIDO MEN/玉川高島屋)

B
先端科学と天然植物成分の両方を取り入れたスキンケアが特徴の〈シスレー〉。厳選した植物成分を豊富に配合した美容乳液は、乾燥など現代の過酷な環境に対応し生き生きとした美肌へ整える。

水分と油分をバランスよく補うロングセラー美容乳液。シェービング後の肌荒れ防止にも。植物成分の穏やかな香りも魅力。"エコロジカル コムパウンド アドバンスト" 125ml。3万8500円(シスレー/玉川高島屋)

A
紫外線による乾燥やシミを防ぐうえに、艶感が出て肌が生き生き見えると大人に人気のUVカットクリーム。まるでスキンケアアクリームのように長時間うるおいが続き、なめらかな肌へ。

SPF50+かつPA++++と紫外線カット効果の高さが自慢。また、肌表面に微粒子の汚れなどが付着するの防ぐため、これからの季節にも活躍してくれる。"プロテクティング デイ クリーム" 30g。7700円(スック/玉川高島屋)

〈玉川高島屋〉のコスメフロアと
 えば、先端技術を取り入れ
 た最新ケアアイテムから、ナ
 チュラル派に嬉しいオーガニックコス
 メまで、贅沢なラインナップを誇る人気
 のスポット。本館1Fには国内外の人気コ
 スメブランドが並ぶコスメ売り場に加え、
 その一角にはナチュラルコスメのセレクト
 ショップ〈ベルナチュレール〉も展開し
 ている。最近では、髪や肌に気を遣う男性

も増えているし、寒さや乾燥なども気にな
 ってくる季節。このコスメフロアには、
 ジェンダーレスに使用できるタイプや、
 メンズの肌質に特化したものなど、男性
 にも使いやすいアイテムが豊富に揃う。
 ここなら、「夏の陽射しで乾燥した肌に潤
 いを与えたい」、「そろそろ本格的な頭皮
 のケアをはじめたい」など、リーダーなら
 での「大人な悩み」にピッタリと合った
 アイテムと、きっと出会えるはず。

本館1F ベルナチュレール



B
 可能な限り、有機農法や野生の
 植物を使用した、ドイツのオー
 ガニックコスメブランド〈ドク
 ター・ハウシュカ〉。ミスト状の
 化粧水は、洗顔や髭剃り後の肌
 にツヤを与えてくれる！

角質層までしっかり浸透して保湿し、キ
 メ細かいハリとツヤのある肌へ整えて
 くれる。ナチュラル／オーガニックの証
 である“NATRUE認証”を受けている。
 “フェイシャルトナー” 100ml、6160円
 (ドクターハウシュカ／玉川高島屋)

A
 ミツロウや植物由来オイルなど
 保湿成分たっぷりのバームで、
 洗いながらトリートメントでき
 る2イン1シャンプー。手軽に済
 めたいジムでのシャワーや、
 入浴の時短対策にもおすすめ。

硬めのテクスチャーで泡立たないタイ
 プ。レモンやローズマリーの香りに加
 えてメントールによる清涼感で、洗い
 上がりはすっきりと爽快。“リフレシ
 ング シャンプーバーム” 150g、3850
 円(アスレティア／玉川高島屋)
 ※11月20日(水)より取扱い開始

D
 保水力があり乾燥などの環境ダ
 マージを防ぐひのき水をたっ
 ぷりと配合した乳液。森林の中
 にいるかのような、清々しい香
 りに包まれながら、肌にうるおい
 のベールをプラス。

保水力があり肌を保護すると注目の国
 産ひのき水を採用。自然由来の皮脂吸
 着パウダーが、テカリやベタつきを抑
 え、さらりとした心地よさが続く素肌
 。“オイルコントロール エマルジョン”
 100ml、8800円(バウム／玉川高島屋)
 ※11月20日(水)より取扱い開始

C
 美しくすやかな髪は、頭皮の
 ケアから。是非取り入れたいの
 が、潤いを保ちながら頭皮を洗
 い上げるスカルプシャンプー。
 清涼感のあるスペアミントの香
 りで、すっきりとした洗い心地。

爽快な使用感で頭皮に刺激を与えコン
 ディションを整えるトウガラシ果実エ
 キスや、保湿成分であるセロリ種子エ
 キスなどを配合。“S&Mスカルプシ
 ャンパー N”236ml、3350円(ジョン
 マスターオーガニック／玉川高島屋)



本館4Fメンズフロアにも

コスメを探すなら本館4Fのメンズ
 フロアも必見。この一角にあるセ
 レクトショップ〈CSケーススタディ〉
 には、トレンドや新定番の服に並び、
 今注目すべき旬なコスメが揃う。

英国発のスキンケアブランド〈ヒース〉の乳液。
 肌を保護し、潤いを与える“モイスチャライザ
 ー”100ml、5170円(ヒース／玉川高島屋)

E
 ヘアケアやスタイリングをしな
 がら、白髪カバーもできるとい
 う多機能アイテム。髪に優しい
 天然由来成分だけを使用。ステ
 イックタイプで携帯しやすく、
 出先や旅行などでも重宝する。

ハッカやユーカリなどの、ユニセクス
 な天然ハーブの香りが印象的。カラー
 は白髪カバー用のブラックとブラウン、
 スタイリングしやすいクリアの3色。“ス
 タイリングハーブバーム”8g、3520円
 (エムアイエムシーワン／玉川高島屋)



右上と同じ「ラージ アンディアーモ メッセンジャー」。ストラップをハンドルにしてトートバッグのように持つこともできるのでスタイリングに合わせてみるのも楽しい。2色展開でこちらのカラーはカーキ

年末を華やかに彩るのはこの7ブランド。

心のこもった贈りもので 自分もパートナーも幸せに。

年末は、自分へのご褒美はもちろん、パートナーへの粋なサプライズとして、素敵なギフトを贈りたい。どうせなら、目一杯ラグジュアリーな気分を堪能できる逸品を。重要なのは、特別感のあるデザインや素材使い。それを体現したアイテムを7ブランドから厳選した。ずっと忘れない「記念」にもなるものを、1年のクライマックスに!

スタイリング=井上裕介 文=長谷川茂雄 構成=大嶋慧子
styling: Yusuke Inoue text: Shigeo Hasegawa composition: Keiko Oshima



右:柔らかなカーフスキン素材。W44×H35×D17cm「ラージ イントレチャート ファスナートートバッグ」59万9500円 上:同じくカーフスキン素材。2種のストラップが付属しているので使い分け可能。W32×H43×D20cm。「ラージ アンディアーモ メッセンジャー」109万4500円(以上ポッテガ・ヴェネタ/ポッテガ・ヴェネタ ジャパン)

1 BOTTEGA VENETA

[ポッテガ・ヴェネタ]

新たな名品として名高い イントレチャートの現在形。

ブランドの象徴であり、代表的な技法といえばイントレチャート。今回のバッグはそんなアイコンをアップデートさせた新定番で、バリエーションも揃う。メッセンジャータイプの「アンディアーモ メッセンジャー」や、上部にファスナーを配したトートバッグを筆頭に、ジャカード織りで仕上げた大判のカシミアブランケットも贈り物として理想的。



カシミア100%素材。レッドとグレーの2色展開。ブランケット各44万円(以上ポッテガ・ヴェネタ/ポッテガ・ヴェネタ ジャパン)

3 DAMIANI

[ダミアーニ]

四半世紀以上支持される 崇高で特別なシリーズ。

ホリデイシーズンに人気を集めるジュエリーシリーズは数あれど、男性からの支持の厚いアイコン的なコレクションといえば「ベル エポック」だろう。クロスモチーフのネックレスとダイヤモンドをあしらったリングが鉄板。今回紹介するのは、1996年に誕生した「ベル エポック」コレクションの最新版。

ネックレスのチェーンはともに65cm。
右:PG×バーニッシュドゴールド×ブラックダイヤモンドネックレス102万3000円 左:バーニッシュドゴールド×ダイヤモンド×WGネックレス117万7000円 下:ほかにYG、WGバージョンもあり。PG×ダイヤモンドリング87万8900円(以上ダミアーニ/ダミアーニ 銀座タワー)



2 Valextra

[ヴァレクストラ]

いつでも持ち歩きたい 小ぶりで上質な必需品。

ラグジュアリーなレザーアイテムの中で、性別や年齢を問わず愛される必需品がミニサイズの多機能バッグ「トリックトラック クロスボディ」。定番色からシーズンナブルまでカラバリエーションが豊富。ネックストラップ付きで、男女問わずアクセサリ感覚で首から下げて使用できる眼鏡ケースも、カラバリエーションが多くあり、旅行や普段の携帯に便利な逸品。

上:カーフスキン素材。W13×H17×D9cm。ショルダーバッグ34万1000円 下:眼鏡ケース 7万3700円(以上ヴァレクストラ/ヴァレクストラ ジャパン)





右:ニットカーディガン84万2600円 上:W58×H50×D25cm。バッグ73万9200円 下:ダークブラウンのほかにチェスナットもあり。ブーツ24万900円(以上ブルネロ クチネリ/ブルネロ クチネリ ジャパン)



4 BRUNELLO CUCINELLI

【ブルネロ クチネリ】

上質素材でアップデート、シーンを問わない男の定番。

落ち着いたブラウン系トーンで、ラグジュアリーを体現したニット、バッグ、シューズは、男の“三種の神器”。温かみとクラス感を備えた上質素材は、身につけるだけで格を上げる。経年変化を楽しんで長年つき合える相棒だ。ニットは、バージンウールとカシミアを混紡した、高級ヤーン素材。ドネガルヤーン加工を施すことで生まれたメランジ風の色合いが秀逸。カントリーバッグはしなやかで薄い極上ヌバックと耐水加工を施したライニングを採用。ブーツはベルベットのような風合いのスウェード製。

右:ブランドの最高級素材“オアジカシミア”を使用。ジャケット79万9000円 中:カシミア100%。撥水加工を施した防風メンブレン仕様の1着。ジップアップブルゾン138万1600円 左:アッパーにスウェード素材を採用し、フロント部分にクロスバンドを装備。ブーツ 23万1000円(以上ゼニア/ゼニア カスタマーサービス)



5 POMELLATO

【ボメラート】

丸みのあるフォルムに熟練の技が光るリング。

金細工職人の巧みな技術が詰まったコレクション“イコニカ”。記憶に残るギフトとしてふさわしいのは、ダイヤモンドをバランスよく配置したローズゴールドのリング。丸みを帯びたフォルムが、カジュアルに手元を彩る。

上:K18RG×ダイヤモンドリング53万9000円 中上:K18RGリング25万3000円 中下:K18RG×ダイヤモンドリング135万3000円 下:K18RG×ダイヤモンドリング39万6000円(以上ボメラート/ボメラート クライアントサービス)



6 ZEGNA

【ゼニア】

使い勝手がよく上質、冬を彩る逸品たち。

デイリーに活躍するアイテムをギフトにするなら、シーンを限定しないアウターとシューズが得策。狙いめになってくるのは、ハイクラスな素材を使ったアイテムだ。ワンランク上の着心地と肌触りを叶えれば、特別感が宿る。特にこのシーズン、シューズはコアサイズがすぐに売り切れてしまうので、早い段階で手に入れておくのがおすすめ。



右上:柔らかなベビーカシミア素材。ジャケット127万7100円 右下:ソフトなカーフスキンで仕上げたトートバッグ。ブラックのほかにベージュ系カラー“ウォーム・マスティック”もあり。W38×H36×D10cm。バッグ52万5800円 左:ベビーカシミアにレインシステム加工を施し撥水性があり暖かな1着。コート154万円(以上ロロ・ピアーナ/ロロ・ピアーナ ジャパン)

7 LORO PIANA

【ロロ・ピアーナ】

ずっとつき合うなら希少性抜群の素材を。

一生つき合えるコートやジャケットをスペシャルギフトにするなら、希少性の高い極上のベビーカシミアを使ったマスターピースを。同様に、万端で使いやすい小ぶりな“ビーム・トートバッグ”も、合わせるウエアを選ばない最高の選択だ。

HERMÈS

ツイードコートを着るなら
現代的な軽快さかつモダンさを。

大きめに描いたシェヴロン柄で、新鮮さとモダンさを印象づけられるツイードコート。“4大ツイード”のひとつとして知られるアイルランド産のドニゴール糸を採用する一方、少量のナイロンの混紡によって従来のツイードとは一線を画す軽やかな着心地に仕上げている。肩線を少し落としながらほどよいゆとりを持たせて着こなす姿も極めて現代的で、その優雅な佇まいによってジャケットスタイルはもとより、休日のカジュアルな装いでさえ、ワンランク上の着こなしとして楽しめるはずだ。

コート93万8300円、ニット56万4300円、シャツ19万1400円、パンツ12万4300円、靴38万6000円、バッグ【参考色】249万7000円(以上エルメス/エルメスジャパン)

やっぱり上司は貫禄が大事だから、
冬のコート選びは
ラグジュアリーが基本。

あなたは、自分のコート姿に自信が持てるだろうか。この問いかけに対し、首を縦に振れてこそ、リーダーにふさわしい貫禄や威厳を印象づけられる。そんな自信を与えてくれるのが、ラグジュアリーなコート。仕立てや見栄えはもちろん、着心地も超一流だから、冬の街を歩く姿も威風堂々かつ優雅に映る。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 恵
文=遠藤 匠 構成=大嶋慧子

photo : Takashi Noguchi styling : Kan Nakagawara (CaVN)
hair&make-up : Megumi Matsumoto text : Takumi Endo
composition : Keiko Oshima



BRIONI

最高峰カシミアコートは 着心地も貫禄も別格。

〈ブリオニ〉が仕立てたこのダブルブレレストコートは、採用したカシミアの
 とろけるような風合いもさることながら、裏地を使わず、薄いショルダーパッドのみで美しいシルエットを描いた仕立てが秀逸。その着心地は極めて軽く、
 上質なカシミア特有の柔らかさと美しいドレープを十二分に楽しめる。フロントやポケットに施したハンドステッチは、職人技を屈指した一流のコートであることを印象づけるアクセントに。
 幅広に設計されたピークドラベルも、貫禄の演出にひと役買う。

コート129万8000円、オーダーニット22万6600円、パンツ19万6900円、ポケットチーフ参考商品(以上ブリオニ/ブリオニ クライアントサービス)、その他はスタイリスト私物



BRUNELLO CUCINELLI

**ラグジュアリー素材は
着心地も見た目も雲上級。**

カシミアとビキューナというふたつの上質素材の心地よさとラグジュアリー感を、最高級の仕立てで楽しませてくれるロングコート。採用したビーバークロスという生地はビーバーの毛皮のような柔らかな毛並みと上品な光沢が特徴で、均等な長さに切る剪断処理のあと、繊維が同じ向きに並ぶようになっている。さらに、希少性の高いカシミアとビキューナを使うことで極めて贅沢な逸品に。ラグジュアリーこの上ない生地と良質な仕立てがもたらす雲上級の着心地を、存分に楽しみたい。

コート303万8200円、スーツ105万3800円、シャツ9万9000円、ネクタイ4万6200円(以上ブルネロ クチネリ/ブルネロ クチネリ ジャパン)
その他はスタイリスト私物

LORO PIANA

雨天でも臆せず着られる 全天候型カシミアコート。

クラシカルかつ優雅な佇まいにテクノロジーがぎゅぎゅ詰まった、リバーシブル仕様のコート。片面は〈ロロ・ピアーナ〉独自のカシミアフランネルで、卓越した起毛加工によるふっくら柔らかな風合いを楽しめる。一方、その逆の面には、“ストームシステム”と呼ばれる防水・防風加工を施したテクニカルファブリックを採用。だから、天候を気にすることなく、貴族と余裕を感じるコート姿を印象づけられるというわけ。ブランド創業100周年を記念したコレクションの逸品といえるだろう。

コート95万8100円、ジャケット71万3900円、シャツ18万5900円、スカーフ6万5000円、パンツ20万6800円、靴18万5900円、バッグ71万3900円、帽子22万5500円(以上ロロ・ピアーナ/ロロ・ピアーナ ジャパン)

reversible



テクニカルファブリックの面を表にすると、トッド色が強いスタイルに。ウエストベルトもカシミアとのリバーシブル仕様になっている

Urban GOLF STYLE* Vol.11

コースで視線を集める名作キャディバッグ!

クラブやウエアは重要。でも、同じぐらいキャディバッグもスコアメイクに欠かせないもののひとつだ。収納力や耐久性といった機能はもちろん、デザインや素材使いで気分が上がれば、プレイの質だって上がる。どうせならコースで目を引く名作を選びたい。

写真=正重智生 スタyling=Kim-Chang

文=長谷川茂雄 構成=大嶋慧子

photo: Tomoo Syoju(BOIL) styling: Kim-Chang

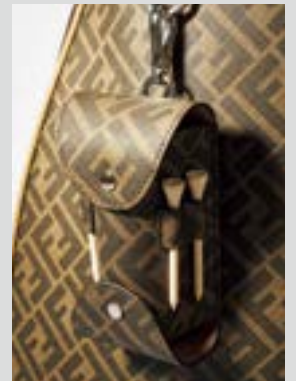
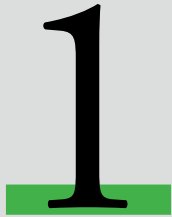
text: Shigeo Hasegawa composition: Keiko Oshima

FENDI

【フェンディ】

黒と“FF”ロゴモチーフが、ラグジュアリーな存在感を放つ。

右: “FF”ロゴモチーフをあしらった逸品なら、コースに出た瞬間にひと際目を引く。重厚感のあるメタルパーツも見逃さない。335万5000円(フェンディ/フェンディ ジャパン) 左: 合わせるウエアを選ばない汎用性の高さで選ぶなら、ブラックベースを。最高級カーフレザーの品のある光沢が際立つ。370万7000円(フェンディ/フェンディ ジャパン)



上: 仕切り内部までベージュのレザー仕様で高級感あり 下: “FF”ロゴモチーフのゴルフボールケースをフックで付けければ、さらに気分は上々

4

TUMI

【トウミ】

頼るべき機能が満載で
スマートにいつでも自立。

上部フロントを下げると、スタンドが伸びてどこでも自立する。防水加工を施したポケットや傘を固定するループなど、突然の雨に頼もしい装備もあり、多機能を備えているのが嬉しいところ。21万4500円(トウミ/トウミ・カスタマーセンター)



3

A.P.C. GOLF × BRIEFING GOLF

【アー・ペー・セー ゴルフ×ブリーフィング ゴルフ】

タフさと上品さを兼備した
夢のコラボバージョン。

2ブランドのロゴを配したインパクトは絶大。摩耗や引き裂きに強い500デニールの“コーデュラトルーロック”を使ったタフな作りは、まさにスペシャルだ。11万8800円(アー・ペー・セー ゴルフ×ブリーフィング ゴルフ/アー・ペー・セー カスタマーサービス)



2

SATURDAYS NEW YORK CITY

【サタデーズ ニューヨークシティ】

雨の日のプレイでも安心な
機能素材とデザインを融合。

機能素材である4レイヤーのX-PACファブリックを採用。撥水性、耐久性に優れているだけでなく、グローブをしたままでもジッパーの引き手が開閉しやすい安心設計。大きく配されたスタンダードロゴ刺繍がスタイリッシュ。6万9300円(サタデーズ ニューヨークシティ)



7

RLX GOLF

【アールエルエックス ゴルフ】

上品かつ遊び心が宿った
話題の“ボロベア”最新版。

ラウンド中も視線を釘づけにする“ボロベア”の刺繍。その最新バージョンは、右手にカクテルを持ったボーリングに遊び心が宿る。アメリカントラッドを連想させる上品な色使いは、コーデを楽しくさせる。6万6000円(アールエルエックス ゴルフ/ラルフ ローレン)



6

PEARLY GATES

【パーリーゲイツ】

プレイ中もその前後も
注目度大の華やかモチーフ。

ロゴをあしらったカラフルなりボンモチーフが、コースやクラブハウスで注目を集めること必至。5分割の口枠は46インチ対応で、長尺クラブをすんなり出し入れできる構造もまた持ち味だ。ストラップには、ふっくらとしたパッド入り。9万4600円(パーリーゲイツ)



5

TAYLORMADE × UNITED ARROWS

【テーラーメイド×ユナイテッドアローズ】

プリントとはひと味違う
唯一無二のキルトパターン。

コラボ第5弾は、アイコニックな“Tバグ”をキルトパターンで表現したスタンドバッグやトートが登場。立体的なモチーフがコースで映える。キャディバッグ6万3800円、トートバッグ2万4200円(以上テーラーメイド×ユナイテッドアローズ/テーラーメイド ゴルフ)





大人な仕上がりの
軽やかなシャツGジャン。

秋にぴったりの、軽くて暖かい起毛の
チェックシャツ生地を使用した1着。
スナップボタンで着脱も簡単、サイド
ポケットもあり便利。短丈デザインで
ボリューム感を抑え、細身パンツとの
相性も抜群。2万4200円(ダブルビー
ウエストポイント / Safari Lounge)



商品ID:49951

シャツGジャン2万4200円
(ダブルビー ウエストポイ
ント / Safari Lounge)、そ
の他は参考商品

商品ID:49951

玉川高島屋に『Safari Lounge』のポップアップが登場。
秋冬にぴったりの
アイテムがここで見つかる。

雑誌『Safari』の公式オンラインストア『Safari Lounge』が10月30日(水)から11月5日(火)の期間限定で、
玉川高島屋にてポップアップストアを開催。今すぐ着られる軽アウターやパーカなどの秋アイテムをはじめ、
冬にも使えるアイテムまで取り揃える。普段は試着できない『Safari Lounge』限定アイテムも
多数ラインナップするから、是非足を運んで実際に手に取って試してほしい。

写真=鎌田孝太郎 スタイリング=柳川武史 ヘア&メイク=高山ジュン
photo: Kentaro Kamata styling: Takeshi Yanagawa hair&make-up: Jhun Takayama



**絶妙なユーズド感がアクセントの
ヴィンテージ調のロゴパーカ。**

カリフォルニアブランドの定番ロゴパーカを、ヴィンテージ調のレッドとブルーに別注。ガーメントダイとウォッシュ加工を施し、まるでサーファーが海で着込んだような褪せ感を再現。優しいコットン素材で、フィット感も抜群。各2万7500円(以上ウエスタン ハイドロダイナミック リサーチ / Safari Lounge)



商品ID:49917

**スニーカー感覚で履ける
サイドゴアブーツ。**

アッパーにウレタンスポンジパディングを施し、スニーカー要素を取り入れたサイドゴアブーツ。毛足の美しいエレガントなイタリア産のオイルスウェードレザーを使用。こだわりのソールは、ブーツとは思えない履き心地。4万7300円(アール / Safari Lounge)



商品ID:50445



**スタイルを引き立てる
ロゴ刺繍ビーニー。**

ブランドロゴを同色で刺繍した、ベーシックなデザインの〈アロハブルー〉のビーニー。シンプルなコーデに被るだけで明るいアクセントに。柔らかい素材で肌触りがよく、長時間の着用でもストレスフリー。各5500円(以上アロハブルー / Safari Lounge)



商品ID:50292

(ライム、ブラック、ネイビー、オレンジ、イエロー)



**機能美と上質感を
両立した便利アイテム。**

〈エスティバン〉の新作は、カード収納や小銭入れもあり、お財布代わりにもなるミニクラッチ。光によって浮かび上がるモノグラム柄が、さりげない上品さを醸し出す。ベーシックで使いやすい3色展開。軽量で水に強い「ウルトラセード」使用。各3万5200円(以上エスティバン / Safari Lounge)



商品ID:50080

(ブラック、オフホワイト、グレー)



**都会的シルエットで
上品さを演出できる1着。**

上質でしなやかなゴートスウェードを使用したダブルライダースジャケット。アイボリーカラーで硬さが和らぎ、男らしさと上品さを両立。3つのジップポケットと内ポケットで収納も便利。柔らかい裏地で着心地も快適。ジャケット12万6500円(アルマ / Safari Lounge) その他は参考商品



商品ID:49981



Safari Lounge

玉川高島屋でポップアップを開催

10月30日(水)~11月5日(火)、『Safari Lounge』のポップアップストアを玉川高島屋本館1F T-ステージ1、4F CSケーススタディで開催。普段はオンラインストアでしか買えないアイテムがずらりと揃う

玉川高島屋

⑤東京都世田谷区玉川3-17-1
営業10:00~20:00
※詳しくは下記HPをご確認ください
☎03-3709-3111
www.takashimaya.co.jp/tamagawa/



玉川高島屋ポップアップストアの詳しい情報はこちら



PATEK PHILIPPE
GENEVE



CUBITUSコレクション

気持ちを刻み込んで、その時計は受け継がれる。

父から子へ、世代から世代へ。